

年賀状って素晴らしい！！

29期 竹本治男（大鶴）

月日が経つのは早いですね。

今年ももう2か月が過ぎました。元旦にはたくさんの年賀状をいたたきました。

改めて1枚、1枚ゆっくり読み直しながら温かい気持ちになっています。

青春時代の原点でもあります北野高校定時制時代から気がつけば50余年が過ぎました。但馬の田舎の中学校を卒業して住友電工（株）伊丹製作所に養成工として入社…そして仕事を転々とし、いろいろな人に出会い励ましていただきました。年賀状を見つめていると走馬灯のごとく思い出します。

毎年、たくさんいただいている年賀状の中でも恩師・青木三郎先生と山本彰良先生からの年賀状は心に残っているものがあります。

例えば2011年（平成23年）第43回日展（書）64歳で初入選しご報告した時から青木三郎先生からは毎年のように年賀状をいただき10数通になりました。その中の1通です。



日展入選おめでとう。

夢をあきらめずチャレンジを持ち続けられた貴君に敬意を表します。人間だれしも夢をあきらめずに、チャレンジ精神を持ち続けることが大切であることを実証された証です。おめでとう！

ほめていただくと大変嬉しく頑張る要素になっていました。

書道人生の原点は小学4年の時、学芸会（今の文化祭）で学年代表（4・5・6年）として舞台でお母さんやお父さんたちの前で大きな紙に大筆で書いたらみんなが拍手してほめてくれました。家に帰ると母が「はるちゃん！すごくうまいなあと皆に言われ、大変嬉しかったよ！」と言ってくれました。

その「ほめ言葉」は今も心の片隅に残り精進し続けることができます。

「好きなこと・自分にできること・人に喜んでもらえる」をモットーに書道人生をこれからも生涯つづけていきたいと思っています。

年賀状は時代とともに利用する人が少なくなり寂しい限りですが私にとっては素晴らしい宝物です。

2023（令和5年）3月5日 記

201143-50682



入 選 証

竹 本 大 鶴 殿

あなたの作品「又録別」は
平成23年度第43回日本美術展覧会第5科において
入選されましたのでこれを証します

此の証書は、あなたの作品「又録別」が、平成23年度第43回日本美術展覧会第5科において入選されたことを証明するものである。審査員長 中山忠彦

平成23年10月15日

社団法人 日 展

審査員長 中 山 忠 彦



2011 (平成23)年 日展初入選の入選証



2016（平成28）年 29期で京都伏見見学した写真



山本彰良先生と青木三郎先生